



—実演—

STEPHANE FERRANDEZ

(ステファン・フェランデス)

フランス語口演・日本語字幕付



—実演—

CYRIL COPPINI

(尻流複写ニシリル・コピーニ)

全編日本語口演

フランス人による

落語会

1973年リヨン生まれ、芸術や人間を愛するアーティスト ステファン・フェランデス。2009年には演出家のサンドリーヌ・ガーブリアと京都に半年滞在し、日本の落語家から落語を学ぶ。2010年には「Histoires tombées d'un éventail」(扇子から落ちた話)という口演を開催し、現在、着物を着て日本での経験を元にしたフランス語落語をフランス語圏の国で披露している。2011年より、日本でも話題の「ジャパン・エキスポ」(パリ・マルセイユ・ベルギー)に出演し、パリの日本文化会館で落語のワークショップを開催し、2012年3月に日本国内(京都・大阪・名古屋・東京・仙台・福岡)でもツアーを開催している。2013年の3月末から再度来日し、全国各地でフランス語落語も行いました。京都に半年間一緒に滞在した演出家のサンドリーヌ・ガーブリアがステファンの口演を演出している。2014年にはヨーロッパ最大の演劇フェスティバル「アヴィニオン演劇祭」(7月開催)で、日本人の断家三遊亭竜楽と林家染太と共演し、「アヴィニオン演劇祭の寄席」を開催。同年9月～2015年1月までパリの伝統的な会場「Theatre du Gymnase」(テートル・デュ・ジムナズ)で週一落語会も開催しました。

1973年に南仏のニースで生まれた尻流複写ニは、高校時代に日本語の勉強を始め、その頃より日本の古典芸能である落語に興味を持ち始める。1997年9月に来日(福岡)し、フランス政府公式機関である「九州日仏学館」に勤務。2001年に上京し、現在、在日フランス大使館内アンスティチュ・フランセ日本の広報部に所属。2010年大阪の落語家・林家染太との出会いをきっかけに本格的に落語を教わる。2011年に開催された「落語国際大会イン千葉」に出場し3位を獲得。外国語で落語を演じる三遊亭竜楽のフランス公演のコーディネーターや通訳で同行し、落語の海外普及にも積極的である。2014年7月5日～27日、世界最大演劇祭「アヴィニオン・フェスティバル」でステファンさん、竜楽さんと染太さんと口演を行う。また、落語をテーマにした漫画『どうらく息子』(小学館刊)のフランス語版を担当。2015年4月から明治大学中野キャンパスにて「RAKUGOを世界へ」という講演会シリーズも行う。

日本で最もポピュラーな語り文化“落語”をフランス人がフランス語で実演するという、そんな日本のお家芸に挑戦し続けるフランス人がいる。日本とフランスをつなぐユニークなパフォーマンスで魅了されること間違いなし!!



2015.10.16 (金)

開演 19:00~
受付開始 18:30~

場所：神戸酒心館ホール

参加費：6,000円(税込み) 立食／お酒(ワンドリンク)付き

お申し込み先：(一社)神戸日仏協会 TEL/FAX 078-271-9464

振込先：三井住友銀行 三宮支店 普通 7106216

締め切り日：10月9日(金) までにお申し込み・お振込みいただきますようお願いいたします。